

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和5年5月9日(火) 午後3時00分 開会 / 午後4時20分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 全員協議会室
議 長 氏 名	代理：事務局 小笠原
出席委員(者)氏名	福井 恵子 磯田 英穂 田邊 仁 内藤 英子 森田 秀子 金平 里美 石川 孝司 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子 黒古 次男 新井 豊吉 來徳 満
欠席委員(者)氏名	今井 英雄 野村 優美
説明者の職氏名	主幹 千葉 茂
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 副会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 諮問 5 委員自己紹介 6 事務局職員自己紹介 7 議題 (1) 次期入間市障害者計画について 障害者福祉に関するアンケート調査報告について 施策検討部会の進捗状況について (2) その他 入間市障害者自立支援協議会の取り組み状況について 令和5年度入間市障害者福祉審議会の今後の日程について 8 その他 9 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	1 次第 2 令和5年度入間市障害者福祉審議会年間予定表 3 入間市障害者自立支援協議会 組織図
事務局職員職氏名	福祉部長 市川 一博 福祉部次長 忽滑谷 敦子 障害者支援課長 小笠原 昌平 主幹 天満 葉月 主幹 千葉 茂 副主幹 小俣 里子
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 )

#### ○ 議題

(1)次期入間市障害者計画について

事務局より説明。

- ・ 障害者福祉に関するアンケート調査報告書について

## 会議録（3）

### 発言者・発言内容

#### ◎ 質疑

黒古委員

私たちが頂いている調査報告書は市民の方にも配布するのか、またはホームページ等で公開されるのか。

千葉主幹

アンケート調査結果に関しては、計画策定の資料として委員の皆様には配布しており、市のホームページ等での公開はしない。

黒古委員

生の声を相談支援センター、基幹、障害者支援センター、教育委員会等色々なところに見ていただき、親御さんの思いというものを受けとめていただくことが、実際に当事者と関わっている人にとっては有益なことだと考える。私たちだけが見るのではなく、何らかの形で是非関係機関にも配布していただき、生の声を聞いていただいた上で、具体的な支援活動に活かしていただくことが必要である。検討していただきたい。

千葉主幹

貴重なご意見、感謝する。今いただいたご意見を参考に、貴重な意見が詰まったアンケートを有効活用出来るよう検討していきたい。

來徳委員

回収数が614通となっているが、障害種別に割合がわかれば教えていただきたい。

千葉主幹

具体的な数字については、9 ページ以降の設問で、身体障害手帳の等級をお答えくださいという設問がある。10 ページでは、身体障害者手帳の所持者の障害の種類について設問で、視覚聴覚音声言語、肢体不自由、上肢、下肢、体幹、内部障害、の選択肢がある。療育手帳に関しては11 ページ、精神障害保健福祉手帳の部分は12 ページである。その中でも特に自立支援医療を利用している方に関して、他の手帳を持っているという形でデータが出て

発 言 者 ・ 発 言 内 容

いる。これらの結果を参照いただきたい。

新井委員

関係機関に関しては、一部配布して回覧してもらおうということでもいいと思うが、614 名の方々は大変苦勞して回答されたと思うし、自分たちの回答がどんな結果になったのかは知りたいだろうと思う。詳しいものを配布して知らせる必要はないと思うが、アンケート結果がどのように施策に反映されたかは伝えるべきだと考える。

千葉主幹

次期障害者プランを作成する中で、実際のアンケート結果の数字等も盛り込みながら策定していきたいと考える。

・ 施策検討部会の進捗状況について

◎ 質疑

黒古委員

地域部会は1月から月1回で現在まで4回開催されている。3回目には、基幹相談支援センター、就労支援センター、現場を抱えている支援機関で、現状と課題報告をしている。4回目は、アンケート調査をもとに地域課題について話合った。3回目では、障害のある人たちを取り巻く環境が変化しているので、分野を超えた機関同士の連携が必要となってきた。福祉避難所に関して、協定を結んでいる福祉事業所は増えているが、今後実際の災害時に障害のある方・要支援者が避難所へ行けるのか、どのように生活するのか等の話が出た。就労支援センターからは、相談者の増加と支援体制についての話が出た。今の就労支援センターの職員数がここ数年全く変わっていないにも関わらず、登録者及び就労者が右肩上がりになっている状況の中で、職員の疲弊が気になりである。就労後の継続した支援や、就労定着支援サービス事業所が1ヶ所しかないことも課題である。4回目では、福祉避難所の課題が多くあげられた。隣近所の助け合い、地域の福祉力が薄くなっているため、新たに出来ているこども食堂やフードバンク等との連携も考えていく必要がある。入間市内に同行事業所が出来、そこでは最低賃金は保障されているが、インクルーシブ社会に合致して機能しているのか吟味する必要がある。今後は市の政策の進捗状況等も見ながら落とし込んでいけれ

## 発 言 者 ・ 発 言 内 容

ばと考える。

### 内藤委員

こども部会は現在まで3回行っており、1回目は1月20日に集まり自己紹介や問題意識を伺う場となった。2回目は3月22日で、話を進めて、相談機関の役割についての話合いと相談機関の見学、子供の意見を吸い上げていく方策について意見を伺った。4月17日には「ういず」に見学に行ったが、入口が奥にあるのでわからない方が多くいるようである。中はとても広く充実した施設であり、民間の株式会社スペクトラムライフ様が運営しており、療育を専門とし、感心するところが多くあった。職員の方にも話を伺ったが、相談支援員の増員、幼少期の児童の支援計画をたてる人の配置、先生方の対応力の強化等、様々な意見をいただいたので、課題として今後も検討していきたい。

### 田邊委員

啓発部会は、1回目は1月10日、2回目は4月12日に開催している。1回目は自己紹介からはじまり、事務局より経緯等の説明をいただき、基本方針4重点課題6について意見をいただいた。この段階ではアンケート調査の報告がなかったので、細かい点については特に話し合いをしていない。2回目は、いきいき暮らせるまちづくり、権利擁護等、細かい部分について意見をいただいた。個別名部分については今後の課題として1つずつ進めていきたいと考えている。重点課題については、全体的な構成に変わりがなければ誤字の訂正程度で、訂正については細かく行っていただきたい。意識の向上についても、アンケート調査結果からも未だに意識の向上が図られていないので更なる啓発活動を進めたいという意見をいただいた。その他の意見では、障害者福祉について関心や理解を深めるために、体験学習等の普及や回数を増やすこと、啓発目的の冊子に効果が少ない点についても意見があった。コロナ禍で人を集めることが困難で啓発にも支障があったのではないかという意見もあった。成年後見制度の周知、利用支援事業の推進、障害者の権利を守る点については、今後の部会で検討する必要があると考えている。達成目標について、目標が達成出来るかわからない数値を掲載することが必要なのか、次回の部会で詳しく意見を集約したいと考えている。

### (2)その他

事務局より説明。その後委員から質問、意見等。

発 言 者 ・ 発 言 内 容

◎質疑

黒古委員

今回地域部会を進めていくにあたり、今後自立支援協議会との連携の進め方を考えるため市のホームページ等を閲覧した。障害者自立支援協議会という組織はあるが、その議事録や傍聴等が出されていない。私たちが地域部会で検討する中でどのように関わるべきかが見えないため、具体的な自立支援協議会との連携が図れないのではないかと考える。今回の会議で大体概要は見えたが、実際どなたに意見を伺えばいいのかわからない状況である。他部会は自立支援協議会とどのような連携をとっているのか事例があれば参考のためにお聞きしたい。議事録の閲覧や傍聴を行えることは市の機関であれば、原則として必要ではないか。審議会として活動する面でも中身がわからないので、自立支援協議会がどのような機関なのか市民の方はほとんど見えていないと考える。今後議事録の公開及び傍聴等の一般市民への情報提供についてどのように取り組むのかご意見を伺いたい。

天満主幹

自立支援協議会の議事録公開のところまでは確認出来ていないので、確認が出来次第フィードバックさせていただきたい。

黒古委員

以前そのような話をした際に個人情報の問題があると聞いている。個人情報の場合は傍聴を停止する、議事録に関しては個人が特定されるような部分は削除する等すれば可能なのではないか。他市の様子を見ても議事録の公開や傍聴等を行っているのでは是非検討していただきたい。これまでに各部会で連携は行われたか。

内藤委員

最初に集まった際にどこにヒアリングをするかという話になったが、自立支援協議会と福祉審議会の関係性が漠然としていてはっきりわからない。福祉審議会はより大まかに施策の方向性を決める会議で、自立支援協議会はより具体的な方向に動く組織だとイメージしているが合っているのか。そこまでの知識なので、一体何をお聞きしたらいいのか詰めてからヒアリングをお願いしたいというところで話は止まっている。

発 言 者 ・ 発 言 内 容

田邊委員

自立支援協議会に関しては特に話題は出てきていない。ただ地域部会の方で支援する際に、オブザーバーのような形で参加出来ればという話はしている。自主的に組織図を見て説明を聞いた段階でもよくわからず、どのように委員が選ばれたのかも不明である。議事録も委員に公開されていない。どこまで公開するのか、個人情報さえ対応すれば出来ることだと思うので、審議会にも情報を流していただきたい。

小笠原課長

自立支援協議会の傍聴や会議録については、近隣市の状況を確認し、令和6年度から新しい委員になるタイミングで検討していきたい。

○ その他

事務局より説明。

○ 質疑

黒古委員

6月中に取りまとめということだが、各部会で文章的にまとめるのか、もしくは项目的にまとめたものを事務局へ提出するのか。

千葉主幹

6月中に部会ごとに意見をまとめていただき、7月4日の第2回の審議会の席で部会からの検討結果として発表いただけるようお願いしたい。

小笠原課長

6月中にまとめるということで、短い期間で大変お忙しいところ申し訳ございませんがご協力いただきたい。まとめたものを素案として皆様に確認していただきながらご意見をいただき、より良い計画プランの策定をしていきたいと考えている。

発 言 者 ・ 発 言 内 容

黒古委員

内藤さんが防災委員になっていただいたことは非常に良かったと考える。以前から防災会議には障害のある方、もしくはそれに関係する方々が参加しているのか話題になっていたの  
で、それで委員の推薦があったのだと考える。地域部会は特に障害のある方の避難等に関わ  
っており、防災対策についても非常に大きな課題として話合われているので、内藤委員には  
どのような話があったのか報告していただき情報を共有していただきたい。

内藤委員

わかりました。

福井委員

貴重なご意見やご提案をいただき、感謝する。三部会の報告もいただき、アンケート調査  
結果も踏まえて私自身もとても勉強になったと思っている。次回の第2回の審議会に向け  
て、福祉プランがより良い内容に仕上がるよう、更なる皆様のご協力をお願いし、令和5年  
度第1回障害者福祉審議会を閉会する。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年6月9日

議 長 の 署 名

福井 恵子

議長が指名した者の署名

粕谷 浩史